

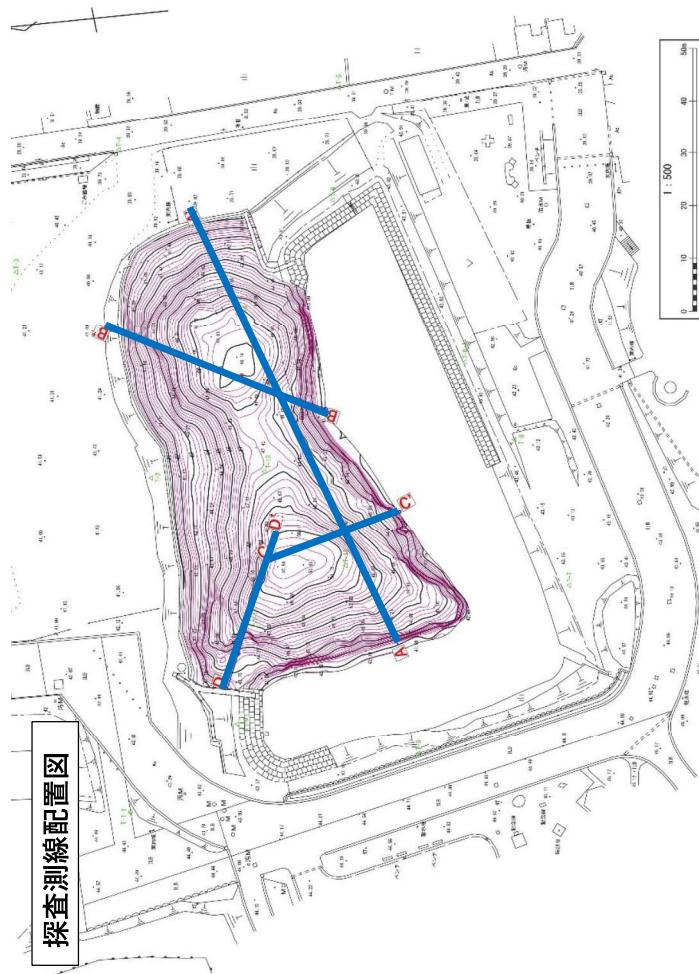
# R3年度 峯ヶ塚古墳弾性波探査等業務委託に関する経過報告

資料4

■目的  
追加的勧告d) 「非破壊で墳丘の構造的安定性を評価するための手法について検討すること」への対応

## ■探査方法とその概要

- ・昨年度の地盤調査方法比較検討委託業務によつて導き出された弾性波探査方法を採用
- ・地表面付近で人工的に弾性波を発生させ、その波を地表に設置した測定装置で観測  
(=地盤が締まつていれば波は速く伝わり、地盤が緩んでいれば波は遅く伝わる)
- ・貫入(SWS)試験も実施する



■探査測線配置図

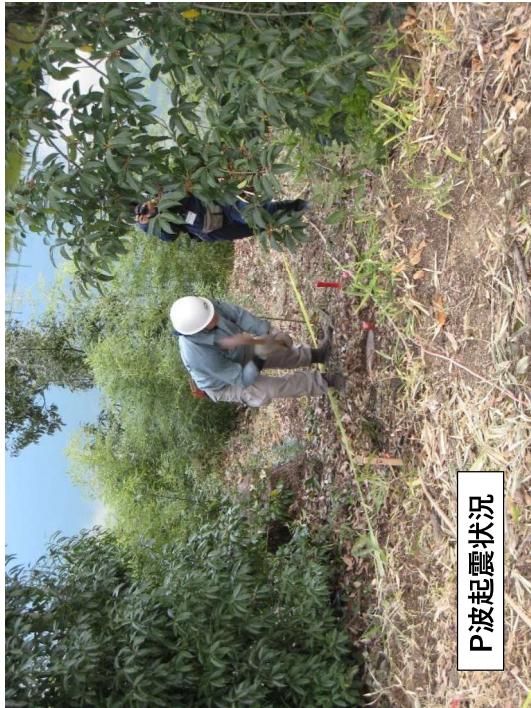
## ■対象古墳

羽曳野市峯ヶ塚古墳

昨年度実施した、地盤調査方法比較検討委託業務において、  
調査対象とした7基の古墳のなかで最も崩壊リスクの高い古墳として  
選定された

## ■進捗状況

10月26日、27日に弾性波探査を実施  
11月25日、26日に貫入試験を実施  
解析に約3ヶ月



調査風景

